

「伝えたい」を広げたい

すぷれっと Spread

Vol. 14
Summer 2015

<http://www.pr-koho.com>

Published by KOHO Co.,Ltd.

contents

【特集】 interview

有限会社 小倉クリエーション
「縞縞 SHIMA-SHIMA」
代表取締役社長 渡部英子

伝えていきたい! ふるさと昔ばなし
「カッパ封じ地蔵」
北九州市若松区大字修多羅高塔山公園

文房具はじまりストーリー
鉛筆

KOHOニュース

本を楽しむ オススメの1冊
「かいじゅうたちのいるところ」

PR Partner
KOHO
株式会社
www.pr-koho.com



大好評

色鮮やかながま口



代表取締役 渡部英子氏

ういうものを作ることがベストなのか」です。

生地コンセプトは、大きな物になっても小さな物になっても色んな用途に使えること。色出しや縞の表現に手を抜かず、手織りに匹敵するような生地作りをすることです。

次にどのように製品にしていくかという時は、縞のコンセプトに合った製品作りを意識しています。キリッとした硬派で魅力的な(男前)の生地に対して甘々な雰囲気の商品は合わない。製品作りに関しても「クール」「エッジがきいた」といったキーワードをもとに意識して企画しています。

小倉織の特徴をいかし 新たな可能性を切りひらく

昨年北九州市で始まった「北九州マラソン」では、ストラップとして使っています。皆さんの目に触れるところ出来るだけ使って頂けるように努力し、小倉織を持っていることが地元の誇りになるようなアクションを起こしていきたいと思っています。それと同時に、国内だけではなく世界を見据えて北九州から発信していきたいと思っています。

実は小倉織の名前を出さずに『縞縞 SHIMA-SHIMA』のブランドとして発信していこうと考えています。古くから小倉織が全国で使われていたということは、小倉織の品質の良さや縞のデザインのクオリティの高さが認められていたということ。お客様が製品を手にとって「いい

な」と思った時に、江戸時代からの歴史を持った織物から生まれた現代の小倉織なんだということが、後から伝わればいいなと思います。

海外に製品を持っていく時、「日本の物なんですよ」と言って喜ぶかというところではありません。安心できるという評価はありますが、海外の人は良い悪い、好き嫌いの判断がはっきりしています。手に取ったらたまたま日本の製品だった、そんなはっきりしているところが素晴らしいなと思います。

ずっと伝統を追いかけ続けてはいけない、走って行けば伝統がついてきて伝統になっていく。アヴァンギャルドなポジションでありたいというのがコンセプトのひとつですね。



北九州マラソンで
完走者に贈られたメダル

伝えていきたい！
ふるさと昔ばなし



「カッパ封じ地蔵」

場所／北九州市若松区大字修多羅
高塔山公園

昔、高塔山の上空で島郷と修多羅のカッパ達が縄張りを巡り、每晚骨肉の争いを繰り広げていた。朝になると、戦死したカッパは青いドロドロの液体になって田や畑に流れ込み、稲や野菜を腐らせてしまうため、村人達は困り果てていた。

この噂を聞いて、堂丸総学という山伏が苦しむ人々の為に、高塔山のカッパを自ら封じようとやって来た。総学は過去に日向の名貫川(宮崎県)で悪い河童をヘチマの葉に封印したことがあった。

カッパを地中に封じ込めようと地蔵の前で祈りを始め、これを見たカッパ達は、すぐに争いをやめて連合軍を作り、美女に化けて誘惑し、金銀をつみ、お化けになったりして妨害したが、総学は動じずに祈りは続けられた。

やがて、祈りの日々に疲れ果て、意識が遠のきそうになったまさにその時、地蔵の背中がたった1カ所だけ、豆腐のように柔らかくなっているではないか!気合いと共に釘を地蔵の背につき立てる総学。次の瞬間、周囲で総学に襲い掛かろうとしていたカッパ達は、木の葉のように舞い落ち、1匹残らず地中に封じ込められていなくなっていたそう。

めでたし めでたし



今でもこの地蔵の背には釘が刺さったままになっていますが、参拝客が「釘が抜けてカッパが戻って来るのではないかと心配して釘をさすって行くため、つるつるに丸くなっているのだそうです。



日本の粋を感じさせる
縞柄が際立つ大人の扇子

伝統ある小倉織を復元し、小倉織の特徴を最大限に引き出した製品を企画・製造・販売している(有)小倉クリエーション。代表取締役社長 渡部英子氏に小倉織『縞縞 SHIMA-SHIMA』のコンセプト、北九州市で生まれた小倉織への想いをお聞きました。

有限会社 小倉クリエーション
「縞縞 SHIMA-SHIMA」
小倉織を使った製品の開発・製造・販売
代表取締役社長 渡部英子

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町3-1-107
TEL 093-561-0700 FAX 093-561-9119
HP <http://shima-shima.jp/>



SHIMA-SHIMA
KOKURAORI



受け継がれる「伝統」と新たな「進化」



パリの展覧会では風呂敷のデモンストレーションが

昭和初期に途絶えた『小倉織』を復元

『小倉織』は、江戸時代初期から豊前小倉藩の特産として袴や帯として珍重され、明治時代には男子学生服の霜降などが全国に広がりました。しかし時代の流れの中で工業製品が主流となり、小倉織は次第に衰退して昭和初期には途絶えてしまいます。

それから数十年後、染織家の築城則子氏が江戸時代に織られた小倉織の小布と出会い、「こんな良い織物がなぜ途絶えてしまったのだろう」という疑問と想いが契機となり、1984年に手織りで復元され現代に蘇りました。

手織りは素晴らしい反面、一点作りになるので高価なものになってしまいます。明治時代のように「もっと日常品として小倉織を皆さんに使って頂きたい」という想いで機械織りの開発に取り組み、誕生したブランドが小倉織『縞縞 SHIMA-SHIMA』です。

多岐に亘って使える製品作り

『縞縞 SHIMA-SHIMA』というブランド名は、小倉織の特徴である縞柄からつけました。小倉織は、よこ糸に対して3倍のたて糸が入ることのでたて縞が鮮やかに色の濃淡を造り出し、なめし革のように使えば使うほど味が出る織物です。

企画を考えるうえで私たちが大事にしていることは二つ。「生地をどういうコンセプトで作っていくか」、「製品にする時にど

創造力をかきたてる
多種多様の縞柄の生地

文房具 はじまりSTORY 鉛筆



ギリシャ・ローマ時代に使われていた鉛筆の起源

鉛筆の起源は古く、今から2000年前のギリシャ・ローマ時代の人は鉛を円板状にして書いていたといわれています。

現代のような鉛筆になったのは、1564年にイギリスの北カンパレーンドのボローデール鉱山で良質の黒鉛が発見され、細長く切り、にぎりの部分をヒモで巻いたり、木で挟んだりして筆記具として使っていたのが始まりです。

1795年にはフランスのコンテが、黒鉛と粘土を混合して焼き固めるという現在の基礎となる製法を発明。混合の割合を変えることによって、芯の濃度が変化するということが発見されました。

日本では江戸時代の初期に、徳川家康や伊達政宗がオランダ人から献上の品で鉛筆を手に入れたのが最初といわれています(徳川家康の遺品として、久能山東照宮博物館に展示されている

鉛筆が日本に残っている一番古い鉛筆)。しかし日常的にはあまり使われず、本格的に鉛筆が使われるようになったのは明治維新後のことです。



鉛筆は、明治初期の日本では「木筆」などとも呼ばれていました。のちに「鉛筆」と呼ばれるようになったのは、一説に「lead pencil」(鉛の筆)からの訳語といわれています。

Information from KOHO

KOHO株式会社のニュースをお届けします。

1 新聞で家族の絆を深めよう! 家族新聞コンテスト開催

メールやSNS、パソコンなどデジタルが普及した今、アナログ回帰して、手書きのあたたかさに触れてみませんか? KOHO株式会社では、「家族新聞コンテスト」を開催します。

応募資格

北九州市内在住の小学生およびその親子・家族
応募は家族単位、スポーツクラブなどのグループ単位

応募規定

・手書きで作ったカラーの手作り新聞(切り貼り原本・カラーコピーとも可) **詳しくはホームページにて**

ホームページ www.pr-koho.com

KOHO



グランプリ1点 (2万円相当旅行券)
金賞2点 (1万円相当旅行券)
銀賞3点 (3000円相当図書券)
家族やグループで話し合いながら、お子さんが主体となって作成してください。(親御さんは細かい部分のサポートを)みなさまのご参加をお待ちしております。

発行

PR Partner



www.pr-koho.com



〒807-0824 北九州市八幡西区光明 1-7-15
Tel.093-602-4461 fax.093-602-5027

2 今年もおじゃまします! Animoブースでペットの撮影行います!! 北九州どうぶつ愛護フェスティバルに参加

今年も北九州どうぶつ愛護フェスティバルに参加します!

- 日時 11月15日(日) 10:30~15:30
- 場所 西日本総合展示場 新館A展示場 小倉北区浅野3-8-1 雨天決行

Animoのブースでは撮影会を計画しておりますので、ぜひ遊びに来て下さいね♪
※詳しくはAnimo8号(10月発刊)をご覧ください。

ホームページ animo.pr-koho.com

KOHO Animo



お楽しみ 読者の1冊 「かいじゅうたちのいるところ」

富山房 モーリス・センダック (著)



おすすめする人
KOHO株式会社
印刷オペレーター
松川 裕哉



モーリス・センダック さく じんぐうてるおやく

学生のとき、ゼミで取り上げられて読んだのがきっかけです。世界的に有名な一冊ですが、子供はもちろん、大人が読んでも楽しめます。実は、作中のかいじゅうたちは、主人公アレックスの家で酔っぱらった大人たちなのです。そして、その中に一匹だけ、アレックスに対して「かいじゅう」になりきれていない彼のパパがいます。ヒントは足下です。探してみると面白いかもしれません。児童文学的にも名作の一つです。構図や設定も深いので、ぜひ読んでみて下さい。